



2年生 “ファイナンス・パーク”を実施

16日、Elem（エリム、市文化センターそば）を会場にして“ファイナンス・パーク”が実施されました。これは市教委主催のプログラムで、中学2年生を対象に、家計のやりくりを通し意思決定について学び、進路選択をねらいとして、毎年実施されているものです。京都市や品川区が先行で行っており、いわき市としても特色となる教育活動です。

具体的に生徒たちは、学校の事前学習で「収入と支出のバランス」や「家庭におけるお金の使いみち」、「賢い生活費の立て方」などを学習します。ファイナンス・パークでは、事前学習で学んだことを生かし、個人情報カード（年齢や家族構成、年収などが割り振られる）をもとに、施設内の店舗などの各ブ



ースから生活に必要な資料や情報を集め、自らの意思で実際に生活設計を行い、「選択と意思決定」の大切さなどを、体験的に学ぶ活動を行いました。



証券会社のブースにて

当日前半は、各ブースを回り、生活に必要な経費などが盛り込まれたシートを集めました。途中には、自分が所有する株価の変動をモニターを見ながらメモをとる場面も見られました。後半は、集めた情報を元に、生活を成立させるために必要なコストを計算する活動を行いました。班ごと、担当者にアドバイスを受けながら電卓で計算する活動で一日を過ごし、帰校すると疲れたとの声も聞かれましたが、将来の進路や生き方について考える上で、とても良い経験ができました。サポートいただいた保護者ボランティアの皆様には、お世話いただきありがとうございました。

“心の教育プログラム”とは

22日、3年生を対象に“心の教育プログラム”が行われました。これは震災後の支援事業の一つで、ストレスを和らげるなどのプログラムを行うなど、福島大学の協力を得て今年で3度目になるものです。



級友の意見も参考にしながら

今回は、2人の専門家（臨床心理士といいます）により、自分を振り返り、「考えの幅を広げる」視点が持てるようなプログラムを行いました。現在、高校進学を前に、やや不安な気持ちで進学先を選択している中で、進路にも少しは広がりを持つて見ることができたのではないのでしょうか。

火災の避難訓練を実施（11/22）

今回は火災を想定し、白銀の松付近への避難訓練を行いました。各家庭でも、万一に備え、初期消火方法など確認願います。

こと発表しました。

一人一人の心に寄り添うのが大事である

必要なのは、チームと共にありチーム

分の経験から感じた、リーダーにとって

たために』の題目で、生徒会役員として自

行われしました。田中くんは、『チームの

今月十四日、豊間中学校を会場に、十二校の代表が集まり

中学生の主張「いわき東部支会大会」

田中颯くん(2年) 最優秀賞受賞

